



6年ふるさと楽行「岩根沢楽行」 7/6 Part1 7/13 Part2



「大井沢楽行」 7/12



6年生は、西川町のすばらしさを感じるために、出羽三山信仰と丸山薫の詩の世界の2つにテーマを分けて岩根沢を訪ねました。

岩根沢地区は、出羽三山参詣の要所として栄えた集落であることがわかりました。この地を訪れた人々に伝えられた「太々神楽」「六浄豆腐」は今もなお受け継がれ西川町にとってとても大事なものだと感じたようです。また、龍神沼の伝説を聞き子どもたちは興味津々でした。

丸山薫先生は、詩を通して親しみをもっていました。岩根沢でのくらしや丸山薫先生について学習することを通して、丸山薫先生への地域の思いも知ることができました。

6年生は、3年生の時も岩根沢地区を訪ねているので、改めて分かったことがたくさんあり学びの深まりを感じました。

学びを継続し、発信する～2年生～



沼山・入間楽行でいただいた生き物を数週間、教室で世話をしてきましたが、生活科で「生き物のためには、今後どうしたらよいか」について話し合いをしました。地域の方にも相談し、ひょうたん池（ピオトープ）に放しても大丈夫だろうとアドバイスをいただきみんなで考えました。そのことを朝会で全校にお知らせしました。

2年生からのお願い

- ・ザリガニ・ブラックバスなどを池に入れないで。
- ・生き物を捕らないで。



小雨が降る中でしたが、まずは大栗をめざしました。途中の道はきれいに整備され、案内看板もたくさん見つけることができました。区長さん、地域の方が迎えてくださり、大栗の大きさをみんなで体感しました。

カチエバには、トンボが飛んでおり子どもたちは「雨の日もトンボが飛んでる。」と驚いていました。学芸員の先生には、わかりやすく大井沢にある植物について教えていただきました。

最後に、折れた大栗の枝でオリジナルのペンダントを作りました。折れたあとも西川町の大事な大栗を大切にしようとして話を聞いていました。活動を通して「命をつなぐ・思いをつなぐ」大切さを学びました。